

～へき地に若手医師がやってくる～

2017年9月吉日

全国初！開業医による医師不足解消
へき地医療研修プロジェクト

「親父の背中」プログラム

および手技強化ワークショップ

「Rural GP Masterclass2017」

開催のお知らせ

時間 9月20日(水)午後3時から
場所 日本医師会館 記者会見室

記者会見参加者

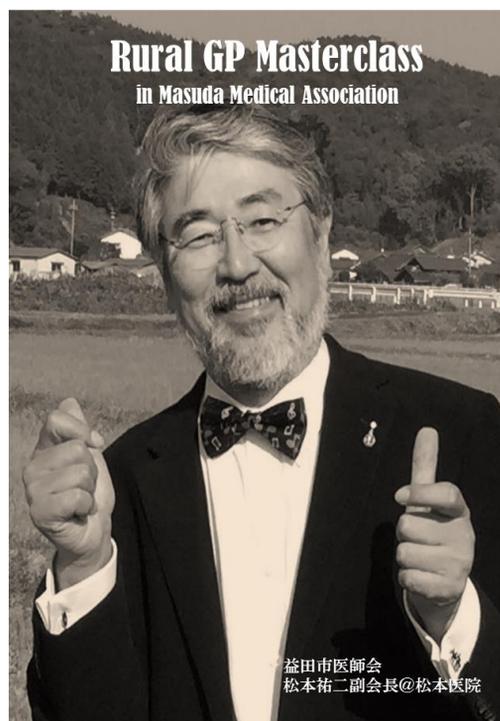
- ・益田市医師会長 神崎裕士医師
- ・ゲネプロ代表 齋藤学医師

深刻な医師不足に悩む地方の医療現場。そのひとつ島根県益田市で、医師不足解消をめざす若手医師のための地方研修プロジェクト（「親父の背中」プログラム）が、2018年春より始動します。

益田市の医師会病院は近年、内科、外科の担当医が1人態勢になってしまうなど危機的な状態が続いています。

そうした窮状を打破するため、救急医療や総合診療を専門とし、へき地医療の先進的な教育プログラムを展開する齋藤学医師（ゲネプロ代表）に協力を要請し、タッグを組むこととなりました。この研修プロジェクトは、すでに一人前の医師として都市部等で活躍している若手医師らを地域医療の現場に呼び込むことをめざし、益田市医師会が、医師会として全国で初めて立ち上げました。2年の研修期間に、同医師会所属10名のベテラン開業医を講師として、小児科、へき地医療など7つの診療科から、参加者が学びたい科を自由に選んでプログラムを構成、匠の技を習得できるというもの。研修期間中は医師会病院の総合内科で入院患者の診療を担当。給与をもらいながら、地域医療に触れ、さらにスキルアップをはかることができます。

来春の本格スタートを前に、9月23日（土）、24日（日）には、同プロジェクトの指導医によるワークショップが益田市で開催されます。これまでに全国20名の若手医師が参加を表明しています。地方の医療現場、ベテランと若手の現役医師同士の交流を見て頂くことが出来ると思います。



●本件に関するお問い合わせ●

合同会社ゲネプロ 〒289-2505 千葉県旭市鎌数910

TEL 080-4311-9504(宮島) / 080-5166-5733(矢田) Email: info@genepro.org 担当:宮島 / 矢田

記者会見参加者プロフィール

神崎 裕士(こうざき ひろし)
公益社団法人益田市医師会会長



鳥取大学医学部卒。

鳥取大学医学部附属病院、松江赤十字病院、鳥取県立中央病院、益田赤十字病院勤務を経て、1995年に神崎耳鼻咽喉科医院を開業。

2017年6月より公益社団法人益田市医師会会長に就任。
耳鼻咽喉科専門医、気管食道科学専門医。

齋藤 学 (さいとう まなぶ)
ゲネプロ代表



順天堂大学医学部卒。

日本医師会の第5回赤ひげ大賞を受賞したDr.コトーのモデル、瀬戸上健二郎医師に師事。沖縄での救急医療、徳之島での離島医療を経て、2014年合同会社ゲネプロを設立、代表に就任。

救急科専門医，プライマリ・ケア指導医。